

別紙様式 1

令和元年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立西部防災館	施設所在地	徳島県美馬市美馬町中島
指定管理者名	四国開発土木株式会社	指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日
施設所管課	とくしまゼロ作戦課	【連絡先】	088-621-2710

1 施設の概要

設置年月日	平成30年4月1日
設置目的	県民の防災に関する意識の啓発及び知識の普及を図り、もって本県の災害時の円滑な防災活動に資するとともに、近隣の施設と相まって、県民の健康の保持及び増進その他の県民の福祉の向上に寄与するために設置。（徳島県立西部防災館の設置及び管理に関する条例第一条）
施設内容	対象の施設は、徳島県立西部防災館の管理運営に関する基本協定書第6条に基づく次に掲げる施設及び備品。 本館：鉄筋コンクリート造（一部SRC）2階建て 床面積780㎡ 別館：鉄骨造 床面積1,630㎡ 駐車場ほか敷地面積：3,443㎡ 物品：備品
利用料金等	○本館 多目的室1：2,770円（午前又は午後） 多目的室2：1,380円（午前又は午後） 研修室：2,070円（午前又は午後） 調理室：2,620円（午前又は午後） ○別館 屋内運動施設：1,4460円（1時間） シャワー：100円（1回）
開館日・休館日等	開館時間：本館 午前9時～午後5時 別館 午前9時～午後10時 休館日：月曜日（ただし、祝日・振替休日の場合は開館し、その日に最も近い平日を休館日とする） 毎月第1火曜日（祝日・振替休日に当たる場合を除く）

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	徳島県立西部防災館の設置及び管理に関する条例第2条、第4条に基づく次に掲げる業務。 ・屋内運動施設その他の施設を利用に供すること。 ・防災に関する意識の啓発及び知識の普及を行うこと。 ・防災及び災害に関する資料の展示を行うこと。 ・健康の保持及び増進に関する意識の啓発、知識の普及及び資料展示を行うこと。 ・その他西部防災館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。 ・西部防災館の施設等の維持管理（知事が指定する補修等を除く。）に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・使用料の徴収に関する業務 ・その他西部防災館の管理に関し知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 6名 臨時職員 0名 計 6名
	<pre> graph TD     A[統括責任者施設長(1名)] --- B[統括管理担当副施設長(1名)]     B --- C[事務・設備担当責任者(1名)]     B --- D[事務・庶務業務担当者(2名)]     C --- E[事務・庶務業務担当者(1名)]         </pre>

#### 4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	元年度	2,370	1,340	1,710	758	700	814	5,239	953	829	979	660	281	16,633
	前年度	349	260	368	347	423	719	786	611	1,098	821	722	884	7,388
	前々年度													0

  

月別利用 料金収入 (円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	元年度	125,130	141,970	98,650	145,040	57,400	68,460	616,220	64,800	112,280	70,740	84,140	68,330	1,653,160
	前年度			10,210	13,320	9,190	21,150	42,910	10,740	22,240	27,360	60,130	79,440	296,690
	前々年度													0

#### 5 収支の状況

(単位：千円)

項目		令和元年度	平成30年度（前年度）	平成 年度（前々年度）
収入	指定管理料	27,354	24,985	
	利用料金収入	0	0	
	事業収入	0	0	
	その他	0	0	
	計	27,354	24,985	
支出	給与	13,984	12,057	
	法定福利	1,407	1,300	
	水道光熱費	2,353	1,484	
	事務用品費	391	738	
	委託料	3,459	3,087	
	その他	3,809	4,179	
	計	25,403	22,845	
収支		1,951	2,139	

#### 6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアコンの温度管理については計画温度通りに設定し、また事務所内にデマンド監視モニターを設置し、基本料金が上がらないように、常時一定の電力以下になるよう、電気設備の使用を調整し、光熱水費の削減に努めている。</li> </ul>
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康増進事業については、幅広い年代の方に利用してもらえるよう、昨年は開催していなかった平日夜の開催に挑戦することで、新たな利用者層の開拓に取り組んだ。</li> <li>・ 地元自治体の広報への折込案内、ケーブルテレビによる西部防災館の施設概要を放送し、地域住民へ西部防災館を広く知ってもらい、ホームページ、facebook、LINEを活用したイベント及び講座の告知を行うことで、利用者がイベント情報等を手軽に入手できるよう取り組んだ。</li> <li>・ 昨年度から引き続き利用者アンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めている。</li> <li>・ 夏場の虫が多い時期や、来館者の多い日は1日に複数回清掃を行い、利用者が気持ちよく施設を利用してもらえるよう努めている。</li> </ul>

#### 7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理2年目となりイベント開催のノウハウが蓄積されたことから、2月末から3月末までの間、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを開催しなかったものの、防災講座は23回開催（前年25回）、健康講座は106回開催（前年72回）、延べ受講者は3,086名となり、昨年度の1,854名から1,232名の大幅増となった。</li> <li>・ 2市2町の学校や施設と協力し、防災講座を開催した。また、西部防災公園内の四国三郎の郷で宿泊訓練をしていた2校の小学校に対し、防災講座や運動施設の提供を行うなど、地域へ貢献できる自主事業に取り組んでいる。</li> </ul>
----------	--

## 8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・利用者ニーズ把握のため、アンケート調査を実施しており、アンケートに記載のあった不在時の電話メッセージの設定を行うなど利用者ニーズに適切に対応している。 ・施設の利用促進のため、昨年は実施していなかった平日夜の健康講座を開催し、様々なライフスタイルの方に施設を利用してもらえるよう新しい取組を行っている。 ・SNS、ケーブルテレビ、地元自治体広報誌など様々な媒体を活用し、施設の利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・計画した事業を実施しており、夏休み中に親子を対象とした、非常食体験などの防災講座を開催し、西部防災館の特色を活かした自主事業を行っている。 ・防災及び健康促進事業については、合計で129回開催しており、要求水準書に定める、年間45回を大幅に上回る成果を上げている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・常時からの目視による点検に加え、備品及び施設の定期点検日を設け、施設の保守管理を行っており、不具合が発生した場合は早急に県へ報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・デマンドを定期的に監視することで、光熱費の削減に努めている。 ・自社で行える業務については自社で行い、法定点検など専門的な知識や技術を必要とする業務についてのみ外部委託を行い、コスト削減に努めている。 ・職員が防災士の資格を取得することで、自身で防災講座を開催できるようにし、講師委託費の削減に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・県が確認した管理運営業務計画及び業務体制に則り業務を遂行しており、燃料タンクの点検など法定点検も適切に実施されている。 ・利用料金の徴収については利用実績と徴収額に差異はなく、適切に行われている。 ・減免利用にあたり、疑義が生じた場合は県と協議の上で適切に対応している。 ・毎日業務日誌を付けることにより、運営状況を記録し、各月毎に月次報告を作成し、自主モニタリングを行い、モニタリング結果を県へ報告している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・職員の労働条件について、事業計画書に記載したとおりの内容を確保し、業務にあたっている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・地域の方を職員として雇い地域雇用に貢献している。 ・業務委託については、空調用LPガスやホームページ作成等の業務を地元企業へ委託している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・地元中学校等と協力し、事業を行うなど、地域と連携した事業に取り組んでいる。 ・広報活動に地元広報誌を利用するなど積極的に地域と連携し、事業を実施している。 ・隣接施設である四国三郎の郷と連携し、同施設に宿泊訓練等で宿泊した学生に対し、防災講座を開催している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・職員の交代があったため、消防計画の改定を行った。 ・防災講座に可能な限り職員を参加させ、職員の防災知識の向上に努めている。 ・計画に基づく、職員の瑕疵による施設利用者への保険に加え、建物及び設備への損害に対する賠償責任保険に加入し、リスク管理を行っている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・エアコンの温度管理を設定通りを行うことで、CO2の排出量削減に努めた。 ・来館者が多い日や夏場など小さい虫が大量に発生する時期は、清掃の回数を増やし、館内美化に努めている。 ・エントランスに季節の花を上、明るい明るいイメージを与えるための工夫や土のうを使った野菜栽培などを行い、防災及び環境の両面に配慮した取組を行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・法定点検等については外部委託を行い、法令遵守を行っている。 ・また、情報公開請求への対応は、指定管理に係る情報公開要綱に基づき適切に対応している。
総合評価	A	・防災及び健康意識の啓発のために創意工夫を凝らしながら、業務を行っており、昨年度と比較し、自主事業実施回数及び施設利用者数が格段に伸びていることは特筆すべきである。 ・また、防止用の土嚢袋を活用し、エントランスに花を植えたり、野菜栽培を行うなど、利用者が気持ちよく施設利用できる環境を整えるための工夫も行われており、要求水準書の内容を満たす成果を上げており、適正な管理運営が行われている。

- 〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・全般的に適切に業務を遂行しており、指定管理者としての役割を十分に果たしている。
- ・引き続き、地域から愛される施設になるよう、創意工夫しながら管理運営業務にあたっていただきたい。
- ・防災イベントと健康イベントの開催数に開きがあるため、防災イベントの開催に工夫を凝らし、防災イベント受講者及び防災イベントの回数増が課題である。